



# デジタル活用で実現する共創まちづくり ～多様な人々の参画を可能にするには～

- 第1回 10月26日(火)これからの共創まちづくりはデジタルをどう活用していくか  
 第2回 11月 9日(火)シビックテックからはじまる共創のまちづくり  
 第3回 11月30日(火)共創のためのデータ活用と市民参加ー先進都市バルセロナを事例にー  
 第4回 12月14日(火)国内におけるデジタル技術を活用した共創事例ー実践者とのディスカッションー

各回 20:00～21:30(オンライン、任意参加のアフタートークあり)  
 全5回 一般8,000円/会員6,000円/学生4,000円

持続的な都市の暮らしを営み続けるため、都市経営・自治体運営上の観点からも、セクターの垣根を超えて「ともに」地域づくりを進めていくことが求められています。世界ではデジタルプラットフォームの活用によって、「共創」の入り口となる市民参加・協働のありかたに変化の兆しがみられ、市民の行政・まちづくり活動への関与のあり方を変えつつあります。

また国内でも、スペイン・バルセロナ発祥の参加型合意形成プラットフォームDecidimなどの活用が進んでいます。本コースでは、『デジタル共創プラットフォーム』の活用を通じて、多様な主体の参画による共創がどの様に実現可能であるのか？その課題や次世代型プランニングの可能性を参加者とともに考えます。

## プロデュース



小泉 秀樹  
東京大学



三谷 繭子  
(株) Groove Designs

## 講師



第1回:10/26

### 小泉 秀樹/東京大学工学部 都市工学科 教授

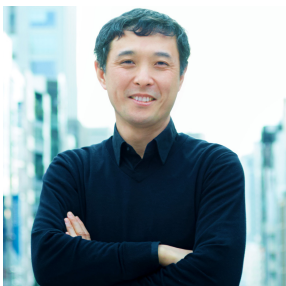
1964年、東京生まれ。1993年東京大学大学院工学系研究科都市工学専攻博士課程修了。東京理科大学理工学部建築学科助手、東京大学工学部都市工学科講師・助教授・准教授を経て現職。専門は、都市計画、まちづくり、スマートシティ。



第2回:11/9

### 関 治之/一般社団法人コード・フォー・ジャパン代表理事

「テクノロジーで、地域をより住みやすく」をモットーに、会社の枠を超えて様々なコミュニティで積極的に活動する。住民や行政、企業が共創しながらより良い社会を作るための技術「シビックテック」を日本で推進している。また、行政のオープンガバナンス化やデータ活用、デジタル活用を支援している。



第3回:11/30

### 吉村有司/東京大学先端科学 技術研究センター 特任准教授

ルーヴル美術館アドバイザー。愛知県生まれ、建築家。バルセロナ現代文化センター、バルセロナ都市生態学庁、マサチューセッツ工科大学研究員などを経て2019年から現職。主なプロジェクトに、バルセロナ市グランシア地区歩行者計画、バルセロナ市バス路線変更計画など多数。近年は、ビックデータやAIを用いた建築・まちづくりの分野で世界から注目されている。



第4回:12/14

### 山崎 菜々子/パナソニック株式会社 デザイン本部 未来創造研究所

スマートシティを中心としたまちづくり関連事業の企画・構築、サステナビリティ経営に関するビジョン策定～実践活動に取り組む。2018～2020にはMITメディアラボ シティサイエンスグループに客員研究員として駐在。IoTモビリティを活用した住民参加型まちづくりに関する共同研究を推進。



第4回:12/14

### 多田 功/加古川市 企画部政策企画課

加古川市企画部政策企画課スマートシティ推進担当課長(兼)地域医療課新型コロナウイルスワクチン接種推進担当副課長。特別定額給付金のスマートな申請やワクチン接種抽選方式、世界標準のスマートシティプラットフォームFIWARE、そして、市民参加型合意形成プラットフォーム Decidimを導入したりと、スマートシティの推進をDo It Yourselfの精神で推進。



第4回:12/14

### 三谷 繭子/ 株式会社Groove Designs

都市プランナーとして全国各地でまちなかのプレイスメイキングプロジェクトや地域主導のまちづくりプロジェクトを支援。現在は地域まちづくりのDXとして、共創デジタルプラットフォーム開発にも取り組んでいる。また、持続可能な都市づくりのための拠点「シティラボ東京」ディレクター。広島県福山市出身、1986年生まれ。

詳細・申込

「Peatix」で「まちづくりカレッジ」と検索下さい！

申込締切：2021年10月24日、定員60名程度

<https://j-college2021-002.peatix.com/>